

## サルバドールからの手紙」アンリ・サルバドール

東芝EMI ¥2548

「アンリ・サルバドールは、フランスの国民的歌手、エンターテイナー、ジャズミュージシャンであり、ボサノヴァのさっかかけとなった曲を作り、歌った人物。彼は耳元でささやくような声で歌い、短い人生をまるで永遠に続くように感じさせてくれる。東京の家のリビング、仕事部屋、山の家、車の中……どこで聴いても、心がほっとする気がする。こんなに聴くアルバムは、ビートルズ以来だ」

## 「The Best of MARIA CALLAS」マリア・カラス

東芝EMI ¥3059

「聴いて、「カルメン」などアリアの名曲を集めたアルバム。役柄の女性の内面を感じさせる、深く豊かな歌声を聴かせる。「オペラは好きでよく観に行きます。リアルタイムで観てはいませんが、マリア・カラスがいちばん好き。このCDを聴いていると、心が驚愕に満たされた気分になります。特に「サムソンとデリラ」からの、「あなたの声に心は開く」には、うっとりとした感動を覚えます」

## 「FACE TO FACE」ウエストライフ

BMGジャパン ¥2548

「ときには、様々なジャンルの音楽を聴いています。トレーニングをやりたくない時でもやる気になってくれ、今もこうして走り続けることができ、音楽に日々助けられています。このCDは、本当に聴いている時に心と体を癒してくれる1枚。大草原や、広い海と風を感じ、同僚の人々への感謝の気持ちなどがわいてきます。体はきつても、なんとかがんばっている自分も、ほめてあげたい気分」

12月13日「第9回菅原武雄メモリアルコンサート」(前65-3283-313)(当日受付可)



## 「サタデー・ナイト・フィーバー」オリジナル・サウンドトラック

ユニバーサルミュージック ¥2300

「素晴らしい映画に素晴らしい音楽が強烈にマッチ。もともとビートルズが好きだったので、このアルバムが今でも一番好きです。お気に入りには「MORE THAN A WOMAN」。スローバラードなのにリズムがあり、なおかつメロディーがキレイで、聴くことができる。そんな曲は、実はなかなかないんです。映画ではこの曲でベアダンスを踊っていますが、最高にナイスな場面になっています」

## 「Sandii with THE coconut cups」サンディー・ウィズ・ザ・ココナツ・カップス

ワーニャオン ¥2800

「涼やかならしてハッピーな曲の息づかいに癒やされることができ、中でもサザンの「真夏の果実」のカバーは、友人宅に遊びに行く時に、習いたてのフラを聴いてくれた曲。サンディーの優しい歌声、友人のフラがとて素敵でした。「ザ・ココナツ・カップス」は「あなたは今夜ココナツ・カップスに恋に落ちるはず」という歌の素晴らしい歌詞で、聴いているだけで楽しくなります」



## 「A SUBTLE ONE」サトルワン」

尾好秋

ワーニャオン ¥2885

「ローリンズのバンドのメンバーとしても活躍のジャズ・ギタリスト尾好秋。1991年に発表されたこのリーダーアルバムでは、よく心地よいサウンドを聴かせる。ラストは荒井由実の名曲「風に吹かれて」。「仕事が一段落して、ほっとお茶でも……とときに聴きたくなります。涼やかな雰囲気とも見えるほりのなかほら感じが感じられ、スーッと胸の力が抜ける感じがします」



## 「サリー・ガーデン」波多野睦美・つのだたかし

ポニーアンソニー ¥2730

「フォークソング集。望月優美さんの楽曲も印象的。「ソプラノ」波多野さんのおおらかで伸びやかな声と、つのださんの弾く古里リュートの温かく程やかな音色。まるで抱擁のいいマッソーを受けているように、体のすみずみまでゆったりととろけそうで、世界へ連れて行ってくれます。忙しくて気持ちいい時、このCDを聴き心の筋肉をストレッチします」



## 「童謡 Doh Yoh」

ウォン・ウィンツァン サトヴィュージック 各¥3009

「ウォンさんは十数年前からの友人。新しいアルバムが出るたびに読んでくださり、どのCDも皆大好き。部屋でも車でも、いつも聴いています。亡くなった夫の葬儀中、延川の病院のそばで初めてのひとり暮らしをしていた時、部屋に戻ると、いつもこのCDをかけては心を癒やしていました。後に買ったCD「はるじょおん ひめじょおん」では、全曲聴いてウォンさんのピアノと3曲共演しています」

アルバム  
「はるじょおん  
ひめじょおん」  
(日本クラウン) 発売中

## 「gretchen parlato」グレシャム・パラート

¥2115

「ジャズコンクールで見事に優勝して一躍注目を浴びた、グレシャム・パラート。彼女の歌声はブラジル風情にアレンジされたジャズによく合う。ジャパンの「Flor De Lis」、ボサノヴァの名曲「Ela É Carrioca」、「Chega De Saudade」、そしてビョークの「Come To Me」など、どの曲も心地いい仕上がりに。休日の午前中に、煎れ立てのコーヒーを飲みながらゆっくりと聴きたい1枚です」



IDEE Recordsのコンピレーションアルバム  
「IDEE ensemble」シリーズ好評発売中

## 「ANCORA」イル・ディーヴォ

BMGジャパン ¥2548 (ボーナスDVD付き)

「全英、全米チャートで、初登場1位に輝いた男声4人のヴォーカル・グループ、イル・ディーヴォ。「スタンダードナンバーを歌ったり、オリジナルを歌ったり、4人の男性のハーモニーに和む。DVDの映像を見ていると、ハンサムな4人の歌う姿で、心が癒やされます」



## 「a8v on the Earth」

東京ザヴィヌルパッパ

Baby Electric Records

¥2300

「坪川昌幸と菊池成孔のユニット、東京ザヴィヌルパッパの2004年の傑作アルバム。無重力空間に浮遊して、宇宙から地球を眺める——ほとんどの人間が生きている間に一度は思い浮かべるであろう、神秘的な夢想。宇宙飛行士か宇宙探検家だけが、現実体験するのを羨望しながら、偉大な音楽家の創った先駆的で洗練されたアブストラクトなジャズを聴き、実体験以上に壮大な宇宙空間を満喫する」



## 「soothing sounds for baby Vol.2」

レイモンド・スコット EPIC RECORDS



「生後月数ごとの3位作からなる、赤ちゃんに向けた電子音楽集。「赤ちゃんのための心ゆくやくなる音楽」と名付けられたこのアルバム。私はVol.2の「6-12ヶ月向け」が一番好き。精神年齢がちょうどそのくらいなのかも(笑)。単純なリズムが延々繰り返されるだけなのですが、「楽しいな〜、音が聞こえるって素敵〜、嬉しいこと考えるのやめた〜」と限りなく没頭してしまいます」

アルバム「見えない4位と、ある」発売中 <http://mainius.shop.or.jp/>

## 「Low Power」立花ハジメ

フォーライフミュージック ¥1835

「元プラスチックスの立花ハジメのソロ名義によるアルバム。「電子音だけれども有機的で、空間を包み込むような優しい響きの古いエレクトリックピアノで演奏されています。全編を通し、音数が少なくスローテンポな展開。じっくり聴き込んでも、読書の際やベッドの中、親しい人との集まりでのBGMでも、その時間と空間にスッと染み込み、ゆっくりとした穏やかな流れに聴かれます」



## 「Look Out! It's JOANIE SOMMERS」

ジョニー・ソマーズ Studio West

「1962-63年に放送されていた、ラジオ番組のために録音されたジャズ・アルバム。当時、21-23歳だったジョニーのチャーミングな歌声が、やさしく心に響く。「'60年代の昔の曲ですが、アトリエで休憩の時や仕事をスタートする前に、ゆったりと流しているアルバムです。それほど深く聴き込むタイプでもないのに、本を讀んだり、考え事をするときなどにも、さりげなく聴いています」

